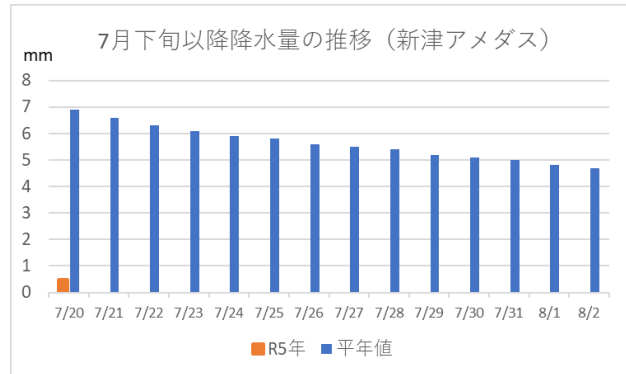
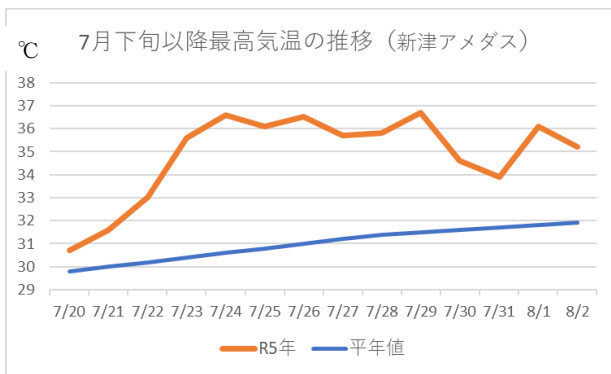


【発行者】新潟農業普及指導センター
新津庁舎 0250-24-9624 津川分室 0254-92-0965

連日猛暑、今後も高温少雨継続の予報 干ばつ対策の徹底

1 7月下旬以降の気象経過



7月23日以降、最高気温が34°Cを超える日が続き、降水量は7月21日以降無降雨

2 今後の気温予報（8月3日現在、新潟県2週間気温予報）

- ・最高気温が34°Cを超える日が8月14日まで継続する予報

3 大豆の干ばつ対策

(1) 暗渠閉栓の徹底

ア 地下水の維持のため、高温少雨状況下では暗渠栓は閉じる。

イ 急な集中豪雨等によりほ場に停滞水が見られる場合は、湿害対策のため、速やかに暗渠栓を開放する。

(2) かん水の実施

ア かん水実施後もほ場に水が停滞しない排水良好なほ場で実施する。排水不良ほ場でのかん水は湿害の懸念があるため実施しない。

イ 地下かんがいが可能なほ場では、畝間に水が染み渡る程度までかん水する。

ウ 地表かんがいでは、水尻側の畝間まで水が行き渡るまでかん水する。

エ 大区画ほ場では、水尻側に水が行き渡るまで一度に大量の畝間かん水を行うと、水口側で湿害を起こす可能性があるため、数日に分けて徐々にかん水する。

オ 水稻の水管理も厳しくなる見込みから、地域での用水計画等を十分考慮し、可能な範囲で実施する。

熱中症警戒アラートに注意し、日中の農作業を避け、作業中は水分補給や適宜の休憩をとりましょう。

